

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会	中野 伸宏	63-7892(文化生涯学習室)

施策体系	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成

1. 施策の基本方針 Plan

- ・ 家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成に取り組むことのできる環境づくりに努めます。
- ・ 青少年の自主的な活動や交流を支援するとともに、非行防止活動や相談体制を充実するなど、健全育成の環境づくりに取り組みます。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・ 名張少年サポートふれあい隊事業 年間延べ100回の街頭パトロールを実施します。
- ・ 有害環境一掃大作戦 青少年の環境浄化活動を7月8日に実施します。
- ・ あぶない標識設置事業 標識を製作し年間を通じて危険箇所の点検・標識の設置をします。
- ・ 子どもを守る家事事業 年間を通じ不審者対策として協力者宅に設置します。
- ・ 青少年ボランティア人材育成事業 ジュニアリーダーの養成講習会(3日間)を12月に実施します。
- ・ なばり子どもセンター事業 子どもの体験活動情報を年間を通じ提供します。
- ・ 放課後子ども支援事業 平成23年度名張・梅が丘・すずらん台・百合が丘の4小学校区で実施しており、本年度も継続して実施します。また、桔梗が丘東・美旗・つつじが丘の小学校区で、実施に至れるか検討していきます。

目標達成に向けた課題 Plan

- ・ 各事業とも学校・地域づくり組織・各団体との連携の必要性がますます大きくなっています。
- ・ 放課後子ども支援事業では、子どもが地域社会の一員であることを自覚し、自然活動や文化活動等を体験する場として事業が行われていますが、実施に係る企画や準備に携わるボランティアの負担が大きくなり後継者不足が懸念されます。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan
Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
初発型非行数 (件)	目標	-	-	-	-	70	60	100%
	成果	77	55	22	20			
青少年ボランティア数 (人)	目標	-	-	-	-	50	56	100%
	成果	47	55	57	57			
放課後子ども教室実施回数【延べ値】 (回)	目標	-	-	-	-	488	1,100	17%
	成果	22	88	146	201			

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・ 名張市青少年育成市民会議や名張市青少年育成推進員連絡協議会において、小中学校長等と話し合いができる場を持ちました。
- ・ 放課後子ども教室事業については放課後子どもプランの一環として、社会教育委員会から今後の進め方について意見をいただきました。青少年教育・家庭教育に重点をおいた取り組みとして方向付けをいただきました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・ 地域づくり組織と連携を行いパトロール活動を行う等、連携を強めています。また、各地域の地域ビジョンにも、安全・安心のまちづくり等のテーマで、防犯パトロールや、子どもを守る家事事業がうたわれています。
- ・ 放課後子ども教室事業についての社会教育委員会の意見は、子どもの居場所は適切に確保されている中で、体験活動機会の充実等、教室の拡大に向け取り組む方向で良いが、地域・コーディネーターの負担軽減と、保護者参加のメニューの取入れが推奨されています。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 5 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
1161	放課後子ども支援事業	文化生涯学習室	722	776	継続(事務改善)	B	B
1170	成人式行事経費	文化生涯学習室	454	508	継続(事務改善)	B	B
1171	青少年健全育成事業	文化生涯学習室	474	482	継続(拡大)	B	A
1217	安心子ども基金地域子育て創生事業	文化生涯学習室	-	985	H23完了	B	B
3078	青少年健全育成事業補助金	文化生涯学習室	228	206	継続(事務改善)	B	B
合計(単位：千円)			1,878	2,957			
小計(うち、一般会計分)			1,878	2,957			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<p>一連の青少年健全育成事業は、青少年育成市民会議の活動が年々充実しているため、従来の連携を維持することで、事業の発展が可能です。</p> <p>ただし、放課後子ども教室は、国・県補助金を確保するために年10回以上の事業実施が必要となります。地域に相当の負担を強いることになるため、補助制度にとられない事業実施が必要です。地域で実施されている子ども向け事業を少しずつ充実していくような緩やかな取組を行うことが妥当です。</p>

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<p>一連の青少年健全育成事業は、青少年育成市民会議の活動が年々充実しているため、従来の連携を維持することで、事業の発展が可能です。</p> <p>放課後子ども教室は、子どもの体験活動メニューの情報提供など、各種ボランティア団体の協力も得て、地域の取組を支援することに重点をおきます。</p>
--

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他(意見)